

研究課題番号	S-16
研究課題名	アジア地域における持続可能な消費・生産パターン定着のための政策デザインと評価
研究実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度
研究機関名	東京大学
研究代表者名	平尾 雅彦

1. 委員の指摘及び提言概要

対象地域においても、政策対象についても、非常に対象範囲が広く、焦点が絞り難いなかで、SCP 政策領域を、生産側としては「製品ライフサイクル」に、消費側としては「サービス提供システム」に整理し、これを SCP1.0、SCP2.0、SCP3.0 の3段階で整理したのは慧眼として評価する。実際の研究は、このように整理されたマトリックスの中に、個別的なテーマを位置付けて、フィールド調査やアンケート調査によるケーススタディを実施したように受け取れる。5年間という期間はあったのだが、このマトリックスに含まれる課題を面としてカバーし尽くすことは、そもそも困難であったと言えよう。それでも、相当数の重要な課題を抽出し、意義ある成果を出したと評価できる。将来は実証・試行などの社会実験も必要で、消費者（団体）や事業者の参加が可能な形で進めたい事業である。報告書で示された EnBPM の具体化をどうするのかは今後の課題である。

2. 採点結果

評価ランク：S